

J - クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年6月29日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラ及び C 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	KC1459
排出削減事業者名	艶栄工業株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 F T カーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	艶栄工業株式会社 本社工場 (住所：〒443-0044 愛知県蒲郡市宝町2-29)
事業の概要	A重油ボイラ2基及びC重油ボイラ1基を都市ガスボイラ7基へ更新する。高効率の都市ガスボイラへ更新し、単位発熱量あたりのCO2排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することで、CO2排出量を削減する。
排出削減	2012年度： 768 tCO2 2013年度： 2,619tCO2 2014年度： 2,762 tCO2 2015年度： 2,738 tCO2 2016年度： 2,679 tCO2 2017年度： 2,679 tCO2 2018年度： 1,277 tCO2 (事業実施期間合計 18,201 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2012年12月10日 終了予定日 2020年12月9日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2016年4月28日～2018年3月29日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	4,653 tCO <sub>2</sub> (2016年4月28日～2018年3月29日)
-------	---

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。  2) 対象期間中の設備稼働の確認 都市ガス使用量の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 都市ガス使用量の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。  2) 活動量の正確性 都市ガス使用量の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。  3) 単位発熱量、排出係数等の確認

	<p>都市ガス使用量の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.1等 により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を都市ガス使用量の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2016年4月28日から 2018年 3月29日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020年12月9日となっているため、クレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。□</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画から変更がされていたが、排出削減事業計画に影響する事象はなかった。

#### 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 165.1kL、6398GJであることを確認した。

以上